

☆みなみ学びの指導体系表(図書資料を活用しての探究型学習)

資料1

広島市立皆実小学校

	学年目標 (情報活用)	情報活用能力(重点目標)	図書室利用	図書資料	読み取る力(国語科)	まとめる力(国語科)	考える視点 (キーワード)
1 ・ 2 年	いろいろな本を読み, 図書館利用の基本的な知識・技能・態度を身に付ける。また, 調べる楽しさを知り, 図書資料を活用することができる。	①図書資料の選定 ・題名や表紙などに着目して必要な図書を見付ける。 ②情報の選択 ・知りたい事柄を資料の中から選ぶ。 ③整理・分析 ・気付いたことや分かったことを記録し, 必要に応じて簡単な絵や文で書く。	・図書室のきまり ・本の並び方(題名・作者等)を知る。	・図鑑や科学的なことについて書かれた本 ・事物の仕組みを説明した文章	各教科で0次を設定し, 図書資料を活用する。	・比べながら(共通点・相違点)読む。 ・時間や事柄の順序に気を付けて読む。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選ぶ。	・必要な語句などの書き留め方や, 気付いたことや分かったことの記録, まとめ方を知る。 ・じゅんじよ ・1つの資料から
3 ・ 4 年	いろいろな種類の本を読み, 図書館を適切に利用する。また, 課題解決に向けて, 図書資料を活用することができる。	①図書資料の選定 ・いろいろな本や資料から, 必要な情報を見付ける。 ②情報の選択 ・2つ以上の資料の中から, 目的に合った情報を比較・分類し, 選ぶ。 ③整理・分析 ・必要な情報を簡条書きで要点をまとめる。	・図書室のきまりを理解し, 本の配架(ラベル・案内図等)を知る。	・事典・図鑑など ・記録や報告などの文章		・全体と中心を関係付けて読む。 ・考えとそれを支える理由や事例との関係付けて読む。 ・目的を意識して, 中心となる語や文を見付け要約しながら読む。	・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や辞典の使い方を理解し使うこと。 ・わかる ・くらべる ・2つ以上の資料から
5 ・ 6 年	いろいろな種類の本を読み, 目的に応じて図書館を適切に利用する。また, 課題解決に向けて, 自分の考えと照らし合わせて図書資料を活用することができる。	①図書資料の選定 ・いろいろな本や資料から, 課題解決に役立つか判断し, 目的に応じた情報を見付ける。 ②情報の選択 ・複数の資料の中から, 課題解決に必要な情報を適切な方法を使って, 選ぶ。 ③整理・分析 ・事実, 引用, 要約などと自分の考えを区別して, 分かりやすくまとめる。 ・構成, レイアウトを工夫したり, 絵や文, グラフ, 図や表などを使ったりして, 効果的にまとめる。	・図書室のきまり, 本の配架(日本十進分類法)を理解し活用する。	・説明や解説などの文章 ・統計資料や新聞などの文章		・原因と結果など情報と情報との関係を考えながら読む。 ・事実と感想, 意見などとの関係を文章全体の構成を捉えて要旨を把握しながら読む。 ・目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。	・情報と情報との関係付けの仕方, 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ・つなげる ・広げる ・複数の資料から

参考文献

文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編』東洋館出版社, 平成30年
鳥取県教育委員会「とっとり学校図書活用教育推進ビジョン」平成28年3月